

## 下関市環境基本計画年次報告（平成30年度）の質疑応答について

No.	箇所	意見	回答
1	全般	<p>「成果指標」、「進捗指標」は基本計画の評価・検証を行うためのものとされていますが、設定された指標が指標として有効であるのか、つまり、計画・施策の成果、進捗状況を代表し、検証でき得る指標になっているのかが気になります。例えば、「優れた自然環境の保全と活用」の進捗指標「天然記念物等指定文化財の巡視件数」は進捗状況が「順調」、施策進行管理（別紙2）の達成状況評価がAランクとなっていますが、施策「自然環境保全の体制づくり」の達成状況評価はCランクです。この場合、「優れた自然環境の保全と活用」評価はどうなるのでしょうか。</p>	<p>ご指摘のとおり、設定された指標が指標として本当に有効であるのかどうかについて、今後本計画の見直し時期も踏まえて検証が必要であると考えております。例であげられた項目については、施策進行管理（別紙2）の「優れた自然環境の保全と活用」には、主要な施策が3施策あり、事業としては4事業あります。それぞれの事業ごとで評価を行っていますが、大枠である施策の方向性「優れた自然環境の保全と活用」の評価自体がわからない状態となっております。頂いたご意見をもとに今後評価方法等を検討してまいりたいと考えております。</p>
2	進捗指標実績 施策進行管理 環境部関連 10 施策	<p>各施策の啓発・周知及び教育。各種教育機関・学校教育への働きかけ、導入の推進。 各種親子環境教室の企画及び実施を各地に広げる。</p>	<p>計画にある施策については、今後も関係機関に働きかけるなど、広く展開して行けるよう周知してまいります。また、第2次下関市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）で定めている「環境情報を共有する機会の創出」も積極的に行っていきたいと考えております。</p>
3	進捗状況 達成状況	<p>遅延及び達成状況評価のC、Dの原因調査、対策を望む。 市全域は広く、産業も異なり、全体に目を向けることは大変だろうが周辺部（市内）にも足を運び現状観察原因調査をし、各施策が進捗する対策・企画実施を。</p>	<p>達成状況評価が低い施策については、施策を実施している庁内各課と対策を検討してまいります。また、計画に定める市内全域の状況が確認でき、施策が進捗するような体制の構築を検討してまいります。</p>

4	進捗指標	ポイ捨てごみの量 1614 個／年は、ある道路のある区画の値か。モニタリング指標として推移を把握するのに適切か。	環境美化条例に基づく、路上喫煙等禁止地区（竹崎町周辺地区、唐戸町周辺地区）で調査した数値です。現在も同じ 2 地区で調査を毎年実施しております。また、モニタリング指標として他地区においても調査実施を検討してまいりたいと考えております。
---	------	--	---